

日中対照言語学会会報 (No.30)

2015年2月23日(月)発行 会報担当: 続三義 加藤晴子

目次

1. 第3回常務理事会拡大会議(冬季大会・2014年12月7日)議事録
2. 第4回常務理事会拡大会議(2015年2月14日)議事録
3. 日中対照言語学会第32回大会(2014年度冬季大会)の報告
4. 日中対照言語学会第33回大会(2015年度春季大会)開催・発表者募集のお知らせ
5. 月例会(2014年10月~2015年2月)

※ 事務局より

1. 第3回常務理事会拡大会議(冬季大会・2014年12月7日)議事録

日時:2014年12月7日(土) 12:30~13:20

場所: 大阪産業大学梅田サテライト(大阪駅前第三ビル19階)

出席者: 続三義、于康、王学群、高橋弥守彦、彭飛、余維、竹島毅、安本真弓、下地早智子、藤田昌志、時衛国、椿正美(敬称略)

【審議事項】

① 理事の推薦等

関西の余維常務理事から、原由起子会員(姫路獨協大学 外国語学部 中国語学科 教授)の理事推薦に関する説明があり、常務理事会拡大会議で承認し、次年度の春季大会時の総会で追認することを確認した。関西の彭飛常務理事から、苗倩会員の理事推薦があり、常務理事会拡大会議で承認し、次年度の春季大会時の総会で追認することを確認した。

② 学会顧問・名誉会員(仮名)の推薦基準(案)

高橋常務理事から顧問・名要会員の推薦基準案「顧問・名誉会員に関する規定(案)」の提案があり、文言の再吟味が必要ということで、引き続き検討することを確認した。

【報告事項】

① 2014年度の会員数の確認

椿正美会計係から、今年度の会員の会費納入が順調に進み、113名の会員から会費納入があったことが報告された。④項に示す学会の仕事に関連して、王学群事務局長を先頭に、学会の会員名簿の整理を進めて行くことを確認した。

② 第33回大会(2015年度春季大会)について

2015年5月に高千穂大学で開催される。具体的なスケジュールなど、また追って検討してお知らせする。

③ 学会誌第17号『日中言語対照研究論集』編集の進捗状況

安本真弓査読委員長から、投稿の締め切りは終了し、15編の投稿があり、査読委員に原稿を送り、査読進行中であるという報告がなされた。

④ 日本学術会議協力学術団体として本学会を登録することに関して

続三義理事長より、加藤晴子副理事長が収集した関係情報を紹介し、学会のホームページの現状を踏まえ、これから会員データの整理、既刊の学会刊行物の関係情報、これまでの年次大会等の関係情報も充実し、登録にむけていくとの報告があった。

⑤ その他、他学会のホームページの相互リンク

他学会と情報を共有するよう、ホームページの相互リンクを図り、これから他学会と連絡を強化していくことを確認した。

2. 第4回常務理事会拡大会議（2015年2月14日）議事録

日時:2015年2月14日（土）15:00～16:30

場所: 大東文化会館K-403

出席者:続三義、王学群、安本真弓、石井宏明、椿正美（敬称略）

【審議事項】

① 中国・中日対比言語学研究（協作）会とのホームページのリンク

続理事長より、本学会のホームページに中国・中日対比言語学研究（協作）会のホームページをリンクしたこと、中日対比言語学研究（協作）会のホームページには、相手側のホームページ管理者の病気により、更新が行われておらず、本学会のホームページがリンクされていないことが報告された。そしてこれからは、中国語教育学会など、関係学会とのホームページの相互リンクを交渉することが提案され、了承された。

② 第33回大会（2015年度春季大会）のプログラム

5月17日（日）、高千穂商科大学にて開催、会場は安本常務理事により確保されている。例年のスケジュールで大会を実施し、原稿の募集を始める。

中国語もしくは日本語の専門家、言語学、社会言語学、談話論などの専門家を東京周辺の大学から講演者として、1名から2名招くことにする。常務理事全員がその候補者を探す。もしくは、大会開催時期に訪日する中国の専門家の情報を得た場合、その方に要請することもあり得る。

以上、三点が確認された。

③学会顧問・名誉会員（仮名）の推薦基準（案）

担当者の高橋常務理事が公務のための欠席により、次回検討することとなった。

④ 常務理事会の開催曜日について

常務理事会を開催する曜日を土曜日から別の曜日に変更することについて王学群事務局長より提案があった。

この提案に対して、一年間の常務理事会拡大会議の開催日について、大まかなスケジュールを先に設定し、開催予定日の一か月前に、各常務理事に対してアンケートを実施し、その設定された日が含まれる週で出席が可能な日を回答して頂き、その回答で出席者が最多となる日に常務理事会拡大会議を開催することが決定された。

[報告事項]

① 学会誌第17号『日中言語対照研究論集』査読進捗状況

16本（うち1本が寄稿）の論文が投稿されている。寄稿以外の15本について、それぞれ2名で査読を行った。査読者2名がともにD判定した論文3本は不採用とした。その他2名ともA、或はAとBと判定した5本は、そのまま、または修正した後に採用とした。その他については、修正後に再査読し、その結果によって、採用の可否を判定することが安本査読委員長により報告された。また、最終的に判断が難しい論文に対しては、理事長、副理事長、事務局長、査読委員長などで相談の後、決定し、最終結果を常務理事会に報告することが確認された。

② 特集号編集の進捗状況

現在9本の論文が集まっているが、トータルで15本の論文を掲載する予定であることが王事務局長（編集長兼任）より報告された。これに対して、原稿提出の締切日を4月末に設定し、知名度の高い専門家に投稿して頂けるように常務理事が呼びかけることが提案され、了承された。

③ 会費納入の現状及び学会誌送付の現

14年度の会員は社会人96名、院生25名で、会費は社会人から合計384,000円、学生から50,000円納金されたことが榊会計係より報告された。

王事務局長より、過去何年分もの会費を一度に納金する会員がいるため、過去の会員数及び、納金金額に変化が生じるので、その変化も把握するよう提案があった。これに対して、会計担当者が過去の変化についても調査することが了承された。

何年間も会費を滞納している会員に対して、引き続き納金するように督促することが確認された。

学会誌の送付状況については、担当の竹島常務理事の欠席により、今回は報告がなされなかった。（追加情報として、常務理事会の後、竹島常務理事から報告があり、学会誌の送付状況は、国内は118冊。国外は38冊、そのうち、会員用35冊＋寄贈2冊、北京日本学センター宛1冊）

④ 議事録について

王事務局長より、正式な議事録として会報に載せる前に、常務理事会に欠席した理事に議事録をメールで送信し、欠席した常務理事の意見を加えた上で、正式な議事録として、会報に載せるよう提案され、了承された。

3. 日中対照言語学会第32回大会（2014年度冬季大会）のご報告

日中対照言語学会第32回大会（2014年度冬季大会）は予定通り、2014年12月7日（日）に、大阪産業大学梅田サテライト（大阪駅前第三ビル19階 06-6442-5522）で開催された。全国からの会員47名が出席し、本学会の特有のさわやかな雰囲気の中、研究発表と討論が行われた。主催校代表の張黎常務理事が校務で欠席したため、于康副理事長が代わりに挨拶し、学会を代表して開会の挨拶をした。学会の若手研究者の活躍が目立ち、彭飛常務理事が院生を15人も引率

しての来会も大会の雰囲気盛り上げた。

4. 日中対照言語学会第33回大会（2015年度春季大会）開催・発表者募集のお知らせ

表題の件、下記により日中対照言語学会春季大会を開催いたします。会員の皆様におかれましては日ごろのご研究を奮ってご発表ください。研究発表ご希望者は3月31日（火）までに東洋大学（王学群 Lwn365@yahoo.co.jp）または東洋大学（続三義 xu_sanyi@toyo.jp）まで、ご氏名・ご所属・発表テーマと要旨400字前後をお書きのうえ、お申し込みください。なお、日中対照言語学会第33回大会（2015年度春季大会）には、専門家1名をお招きいたし、講演をお願いする予定となっております。

記

日 時：2015年5月17日（日）午前9時00分より午後5時30分（予定時間）

会 場：高千穂大学（東京都杉並区大宮2丁目19-1 交通：井の頭線西永福駅下車、北へ徒歩約10分）

参加費：1000円（会員、非会員共通）

5. 月例会

従来、月例会情報として、発表者の要旨も掲載していたが、開催通知でも周知し、また学会ホームページにも掲載していることから、ここでは、開催日時と場所、発表者氏名のみ記載する。

2014年9月（20日（土）18：00-20：00 大東文化会館 K-301）

発表者(1)：洪安瀾（大東文化大学大学院博士後期）

静態存在文と“过字句”について

発表者(2)：時衛国（愛知教育大学）

程度表現の対照研究—勧誘のモダリティを中心に—

2014年10月（18日（土）18：00-20：00 大東文化会館 K-403）

発表者(1)：小路口ゆみ（大東文化大学博士前期）

実例からみる“把”構文の日本語訳の傾向について

発表者(2)：飯塚敏夫（十文字学園女子大学非常勤）

シンガポールの華語語彙

2014年11月（15日（土）18：00-20：00 大東文化会館 K-404）

発表者(1)：金香（新潟大学院現代社会文化研究科博士前期）

助動詞“能”と“会”の可能表現に関する研究—期待性についての語義分類—

発表者(2)：洪安瀾（大東文化大学大学院博士後期）

“过字句”について

2014年12月（20日（土）18：00-20：00 大東文化会館 K-401）

発表者(1)：小路口ゆみ（大東文化大学大学院博士前期）

現代中国語“把”構文における基本用法と派生用法とについて—連語論の観点から—

発表者(2)：神野智久(大東文化大学大学院博士後期)

「着点への移動」と「起点からの移動」に見られる非対称性について

2015年1月(17日(土))18:00-19:30 大東文化会館 K-403)

発表者：李鵬(大東文化大学大学院博士後期)

「中国語の動結式構文に見られる相互c統御」

2015年2月(14日(土))18:00-20:00 大東文化会館 K-403)

発表者：高橋弥守彦(大東文化大学)

異領域のくみあわせを表す「動詞+“上”」と客体との関係について

事務局より

- 1) 学会の入会は、日中対照言語学会ホームページ上で随時受け付けています。ただし、申し込みができない場合は王学群事務局長(Lwn365@yahoo.co.jp)、または竹島毅常務理事(sisi@crest.ocn.ne.jp)までご連絡をください。年会費は社会人4000円、院生2000円となっています。皆さんの入会を歓迎いたします。
- 2) 毎月の例会の開催は、郵送ではなく、メールにてご連絡させて頂いております。不明の方がいらっしゃいますので、ぜひお知らせいただきたくお願い申し上げます。また、メール変更につきましても、同様にお願い申し上げます。
- 3) 年会費の納入について
2014年度の大会開催時に年会費の納入を受け付けております。また、都合により出席されない会員に対しては次号の会報から請求書を送付させていただきますので、ご納入のほどよろしくお願いいたします。